

## 開所のご挨拶

「伊賀地域生活支援拠点オルハナ」開設につきましては、伊賀市にお住まいの障害のあるご利用者様またご家族様よりたいへん長い間ご要望を受けており、何とか実現したいという想いで3年前より計画を進めて参りました。

その間、コロナ禍による社会環境の変化を始めとする諸情勢により計画が大幅に遅れましたが、この度苦節を乗り越え開所することができましたのも、ひとえに伊賀市様はじめ関係機関、大山田地区関係者など地元の皆様によるご協力と温かいご声援の賜物と、深く感謝申し上げます。

さて、オルハナ構想につきましては、昨年度中頃より、法人内部でワーキンググループを立ち上げ協議を重ねながら、基本設計など形にして参りました。

事業所名「オルハナ」とは、施設名としたハワイ語「Ohana（オハナ）」と「Luana（ルアナ）」の合成語で、「Ohana=精神的に支え合う家族・仲間」「Luana=みんなと一緒に楽しみリラックスする」という意味があり、それぞれに私たちの事業にかける思いとして命名しました。

グループホームは男女別の2棟に分かれ、それぞれグループホームの居室として7室、短期入所用居室として2室で間取りしています。建屋内の環境は、ゆったりとした居室、オープンキッチン、天窓から注がれる自然光、ベンチのある玄関など、私どもがイメージしていた暮らしの空間を形にできたと思っております。

対象利用者として障害支援区分4~6の方のご入居を想定しており、24時間体制での支援体制に合わせ、万一の災害時の連携体制や設備も設けております。ご利用される年齢層も幅広いものと想定しており、入浴機器もフレキシブルに対応できるものを設置いたしました。

これから、ご利用者に快適な住まいと支援を提供させていただきますとともに、この施設を通じて、伊賀市の重い障害のある方たちの地域生活を支える拠点として、期待に応えられる取り組みを進めたいと考えております。そして、「オルハナ」が出来て良かった、そして私たち職員にも出会えてよかったと思い、利用者はじめ家族の方にも安心してもらえるように日々精進していきたいと思っております。

最後に、誰もが希望すれば地域で住み続けられる地域づくりを目指して、伊賀市のあらゆる機関と顔の見えるネットワークづくりを行い、伊賀市に緊急という概念がなくなるような機能を発揮できるようスタッフ一同努力して参ります。

どうか末永くよろしくお願ひ申し上げます。

伊賀地域生活支援拠点オルハナ 所長 多原智子